

令和6年度「インターネットによる遠隔教育受講生（遠隔選科生）」募集要項

科目名 遠隔-2 保健情報利用概論

A. 科目責任者：星 佳芳(保健医療情報政策研究センター)

B. 科目の内容概略ならびに一般目標(General Instructional Objective: GIO)と行動目標(Specific Behavioral Objectives: SBO)

○内容概略

保健医療分野では様々な現場で多様な情報が利用される。住民・患者から直接得られる様々な情報、それらの情報についての評価や介入に関する情報、そして、情報を集計・統合して、問題点を分析して解決策を検討する場合もある。

保健医療の発展のためには集めた情報に基づく知見を発信していく必要もある。発信された情報を基に、更に新しい知見が生み出されるというサイクルで、保健医療分野の英知は蓄積されてきた。科学的根拠に基づいた保健医療を実践するためには、これらの情報を合理的・科学的な方法で取り扱う必要がある。

この合理的方法の中には、情報の収集、分析、解釈、結果の発信などのプロセスが含まれる。情報の解釈には疫学や生物統計学の知識も必須となる。

この研修では、上記のプロセスを念頭に置いて、どのようにすれば情報を合理的に取り扱うことができるかを考える。

○一般目標：地域保健法では、地域保健活動の一環として、地域保健に関する情報の収集・整理・活用、調査研究の推進の重要性がうたわれている。本科目では、これらに対応できる技術や方法論を習得する。

○行動目標

- ・科学的根拠に基づいた保健活動を実践するために必要な保健情報の収集、分析、提供あるいは調査研究の基本的考え方を説明できる。
- ・情報利用に関する理論、技術、方法論を実際のデータ解析に応用できる。
- ・現場で持っている課題に関して、問題発見からその解決までのプロセスを説明できる。

○科目の進め方

- ・各チャプターでテーマを設定し、それに関する情報や理論を紹介する。
- ・それらの特長を理解したうえで論述を行い、掲示板（フォーラム）においてディスカッションを行い、テーマに関する理解を深める。

C. チャプター名と各チャプターにおける獲得目標

第1章. 保健情報利用概論（星 佳芳）

保健情報の特徴と種類，その利活用について習得する.

第2章. 科学的根拠に基づく保健情報の収集と発信（星 佳芳）

科学的根拠に基づく保健情報の収集と発信について習得する.

第3章. 保健医療情報の評価（星 佳芳）

保健医療情報の評価について習得する.

第4章. Webを用いた情報利用（外部講師）

Webで取得したデータに関して、統計解析を行い発表できる.

第5章. データ標準を用いた疾患データの利活用（外部講師）

保健医療におけるデータ標準とその意義について習得する.

第6章. データの標準化 (上野 悟)

データの標準化と相互利用について習得する。

第7章. 研究データ情報と研究デザイン (松田 彩子)

研究にて得られるデータの種類 (連続変数・順序変数・名義変数) と、研究のデザイン (生態学的研究、横断研究、コホート研究、症例対照研究、ランダム化比較研究、メタアナリシス等) について習得する。

第8章. 診療情報管理と ICD-11 (国際疾病分類第11版) の動向 (西大 明美)

診療情報の病名管理と ICD-11 の特徴について習得する。

第9章. Personal Health Record (PHR) の活用 (橘 とも子)

個人の健康に関係するさまざまな情報を統合的に記録して、自分で、あるいは家族で管理する PHR の基本的な考え方とその活用事例について習得する。

第10章 演習課題発表 (星 佳芳)

保健情報における課題を分析してその解決について発表を行う。

- D. 担当者一覧：星 佳芳 (保健医療情報政策研究センター)
上野 悟 (保健医療情報政策研究センター)
松田 彩子 (保健医療情報政策研究センター)
西大 明美 (保健医療情報政策研究センター)
橘 とも子 (保健医療情報政策研究センター)

E. 募集定員：定員 10 人

F. 受講資格：国及び地方公共団体等において、保健医療福祉関連業務に従事する者

G. スクーリングの有無：なし

H. 修了認定の方法：各チャプターにおける課題提出

I. 開講期間：令和6年10月15日～令和6年11月22日

J. 受付期間：令和6年9月13日～令和6年10月4日

K. 追加提出書類等：なし

L. 使用テキスト：なし

M. 接続環境：インターネットを用いて科学院遠隔教育システムにアクセスできる。

N. 専門課程 (分割後期を含む) 認定単位：2